

アゴラとは

東北学生卓球連盟 副幹事長 狩野榛汰

この度は、第17回「日学連アゴラ」に文章を掲載していただくこと、誠に感謝申し上げます。私は現在、東北学生連盟の副幹事を務めておりますが、実は東北学連に所属した時点での役職はホームページ係でした。しかし、同学年の幹事長を引き受けた者が退部し、そのまま東北学連からもいなくなったため、私が代わりに幹事長に昇進した、という歴史があるのです。幹事長の仕事は大変であると聞かされていたため、初めこそ不安でした。しかし、多様な方々との関わりを作ることができたり、大会は非常に多くの人の協力と努力の上で成り立っていることを知ることができたりと、自分にとって有益な学びを得ることが多く、大変な仕事に相応のやりがいも含まれているのだと感じております。

さて、前置きが長くなりましたが、私はアゴラの執筆担当が回ってきたとき、まず思ったことがあります。「アゴラ」って何だろうと。私の人生20年間で、この「アゴラ」という単語を聞いたのは初めてであると、確信を持って言うことができるでしょう。そこで、今回はこの「アゴラ」という言葉について調べることにしました。

Wikipediaからの引用ですが、「アゴラ」とは古代ギリシア語で *ἄγορά* と書き、これは古代ギリシアの都市国家ポリスにおいて、重要な公共空間として不可欠な場所である「広場」を指すそうです。人々が集まることから市場として機能するだけでなく、民会と呼ばれる古代ギリシアのポリスで開催された市民総会も、この *ἄγορά* で開催されたそうです。

「アゴラ」について調べましたが、まさかその由来が古代ギリシアまで遡るとは思いませんでした。私は、小学生時代から今に至るまで、日本史と世界史をまともに覚えることができずに生きてきたのですが、都市国家ポリスという単語は聞き覚えがありました。そのため、もしかしたらこの「アゴラ」についても教科書のどこかには載っていたのかもしれないね。聞いたことない単語だと確信を持って言えると思っていましたが、単に私の記憶力が弱いだけかもしれないという事実には震えています。

このように、我々の生活の中では、ふと何気ないところから新しい学びを得ることができます。ですので、幅広い視野を持って、さまざまなことに疑問を持って調べたりすると、それだけで自分の成長につながります。そのためにも、日本各地から「人々が集まる」この「日学連アゴラ」で、各々が多様な知見を得られることを願っています。

最後までお読みいただきありがとうございました。